

つくば常民大学7月(第34回)

講師：岩崎真也氏（茨城ビデオパック代表）

題目：「映像による茨城県民俗文化誌－文化遺産から文化資源化へ！」

日時：2024年7月18日（木）午後1時～3時30分

場所：つくば市二宮交流センター

※参加自由・要資料代

私は、土浦市立博物館の展示映像（民俗編）を皮切りに茨城県内の民俗・文化財映像作品 100 本余を手掛け、作成してきました。その 40 年間の経験から民俗・文化財の映像化は、その映像自体が貴重な文化資源となるだけでなく、地域の人々にふるさとへの誇りと矜持を醸成させ、地域社会の活性化と絆を生み出す大きな力になると考えています。

民俗・文化財の映像記録といっても、その対象は無形民俗文化財、伝統的建造物、民俗技術、伝統産業、民俗芸能などさまざまで、製作の手順や映像の記録方法も同じではありません。今回は前半で、稲敷市「時崎西坪のオビシャ」（2005）、かすみがうら市「出島村の民家・板倉解体復元」（1994）、「真壁石燈籠の製造技術」（2023）、筑西市「小栗内外大神宮太々神楽」（2019）の一部を紹介、撮影編集のポイント、製作のエピソード、今後の課題等をお話し、後半は県指定無形文化財第1号常陸太田市西金砂神社「町田火消行列－その歴史と執行の記録－」（2009）を上映、解説をしたいと思います。



『町田火消行列物語』(2009 作成)